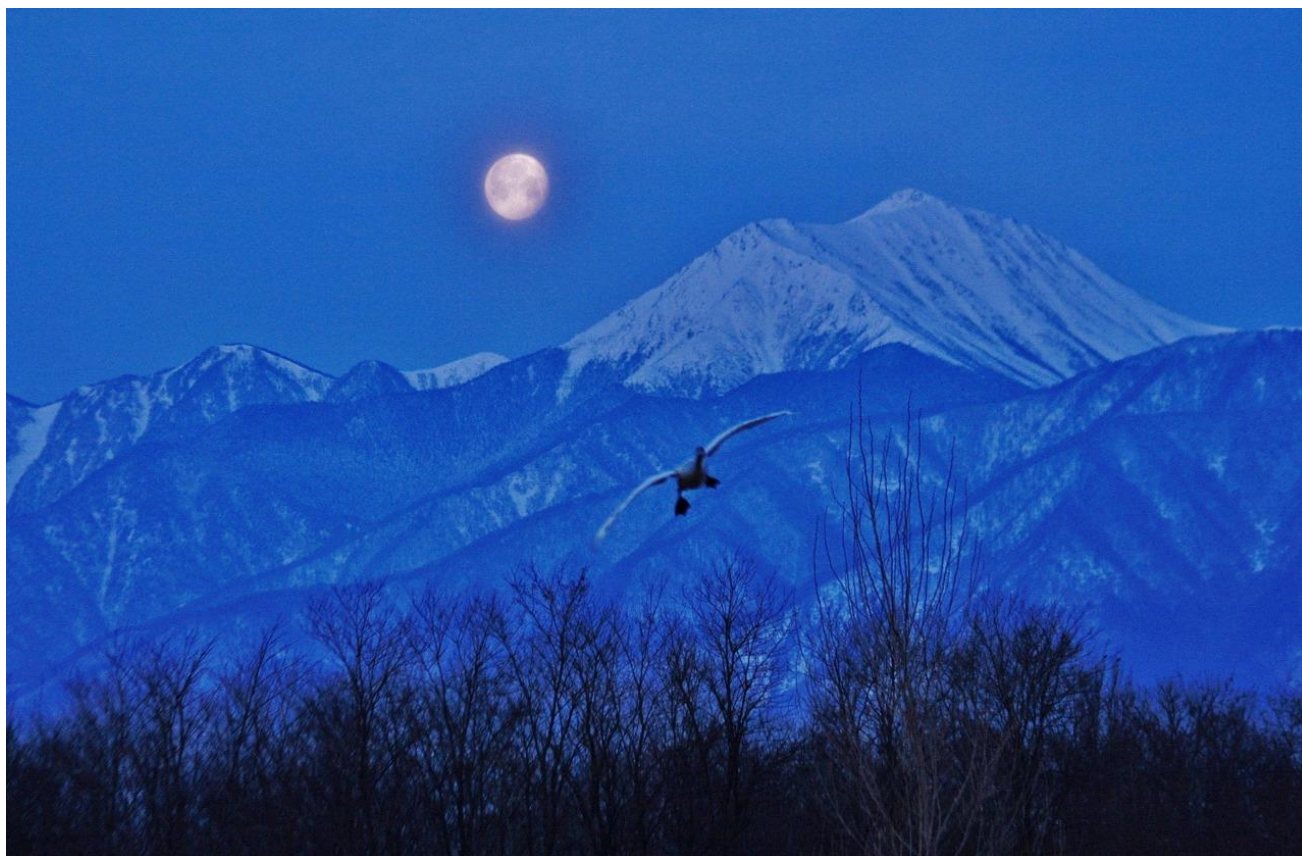


山岳友の会会報

2023年4月 第47号



飛翔朝一番 安曇野犀川 撮影：荻野 秀夫

も く じ

第62回現地研修会（黒百合ヒュッテ）	報告1 杉田 浩康	2
	報告2 高岡 ゆり	2
2023年度通常総会・第22回憧憬の森講演会		
	報告 勅使河原 幸一	5
2023年度通常総会資料		6

第 62 回現地研修会

『厳冬期の天狗岳と黒百合ヒュッテ』報告 その1

杉田 浩康

2月6日。起きて空を見ると快晴。少し余裕を持って出発したつもりだったが、茅野市内の通過に時間が掛り、9時の集合時間少し前に唐沢鉱泉到着。心配した桜平分岐から先の林道は車のトレースがあり問題無かった。

今回の参加者は11名。まずは全員で登山前の写真を撮って出発。先頭グループは、雪の付いて良く踏まれた登山道をどんどん登って行く。普段私が登っているスピードと比べると相当早い。最初はついて行こうとしたが5分ほどで諦めて、自分のペースで登ることにした。1時間半程で渋ノ湯からの登山道と合流。先頭グループの姿は既に無く先に行ったようだ。11時半に黒百合ヒュッテ到着。夏のコースタイム2時間を少し上回った。風はほとんどなく日差しが暖かい。ツアーのグループなど10人ほどの登山者がいた。さすが人気のルート。少し休み、待ちかねていた先頭グループの人たちと一緒に天狗岳目指して出発。ここからアイゼンを装着。中山峠から右に折れ、左手が切れ落ちた稜線から岩場を越え急な雪面のトレースを登って東天狗岳頂上。頂上からは、富士山が目の中の硫黄岳に隠れた他は、ほとんど360度の展望。前回の美ヶ原に続いて今回も天気は大当たり。皆さん登頂を果たしたら次の目的に向かってまっしぐらに降りていった。私は穏やかな頂上で写真を撮ったり景色を眺めたりした後下山。小屋に着いたら既に宴会が始まっていた。黒百合ヒュッテは内装が新しくなって暖かく快適だった。それぞれ酒やつまみを持ち寄っての宴会と情報交換はこの会のメインテーマ。私はすっかり飲み過ぎて、意識朦朧状態で就寝。



2月7日は、天気下り坂の予報通り起きると空は薄曇り。昨日頂上に登ってしまったので、今日は降りるだけ。朝食とコーヒーも頂いて8時少し前に下山開始。小屋の皆さんお世話になりました。下りも猛スピード。20分で渋ノ湯分岐到着。その先も渡邊さんの森林講座を聞きながら楽しく歩いてなんと1時間半で唐沢鉱泉に着いてしまった。

この会の皆さんは、健啖で酒豪揃いと思っていたが、健脚でもあると知りました。楽しい登山をありがとうございました。

第 62 回現地研修会

『厳冬期の天狗岳と黒百合ヒュッテ』報告 その2

高岡 ゆり

第62回研修会 黒百合ヒュッテ宿泊 東天狗岳登頂

参加メンバーは11名

ふみさん(副会長)、鈴木先生、久雄さん、澤田さん、杉田さん、西尾さん、細萱さん、本家さん、横田さん、渡邊さん、高岡 (五十音順)

2月6日(月)9時10分、唐沢鉱泉を出発、黒百合ヒュッテを目指します。
谷間のため陽の光は届いていないが、頭上は青空、天候には恵まれました。

歩き出しから殆どのメンバーがアイゼン装着する中、渡邊氏の足元はスパイク付きの長靴と山の仕事人の様相、冬用登山靴をお持ちでないとのお話でしたが、下山時には「買うかな・・」というお声が聞こえました。

登山道にはしっかり雪がついていて歩きやすい状態、気温は低いが木の間から差す日差しは暖かく、歩いているとうっすらと汗が出てきました。

先行した方々は2時間ほどで黒百合ヒュッテに到着。

私は中盤を歩いていた為、到着したころには先行メンバーは、昼食を終えて荷物を整理していました。

手袋をしていなくても過ごせるほどの暖かい陽の光の下、ベンチに数人が座り、パンなど各自持参した昼食をとりまします。

先行メンバーが荷物を小屋に預け、出発の準備を終えた所で、小屋前で集合写真を撮影、東天狗に向け出発して行きました。

皆さん、西天狗へ行く気はない様子で早く帰ってきて飲むぞーと談笑。

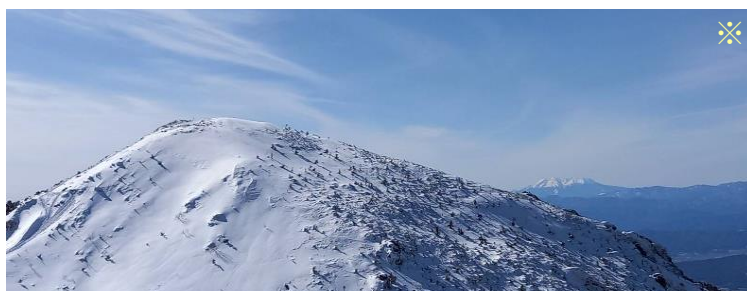
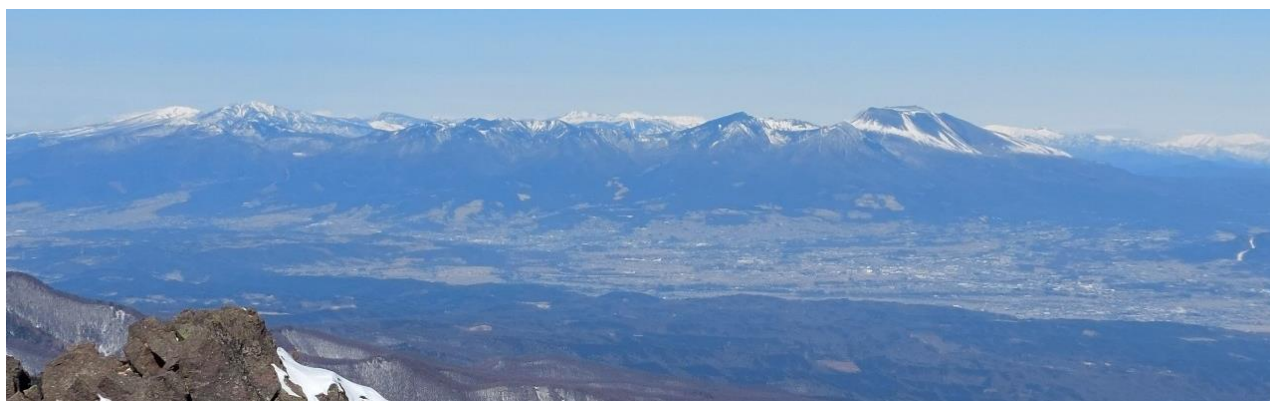
私は遅れること 15 分、ジャケットの下にフリースを着込み、澤田さんと一緒に歩き出しました。

中山峠を抜けると、先行メンバーの姿を見ることができません。

天気は良いがやはり風が強く寒い、風除けにジャケットのフードを被りました。稜線の岩場は雪のついていない部分があり、少しアイゼンを気遣いながら登っていきます。

13時、東天狗に到着。

到着メンバーで集合写真を撮影、360度景色が見渡せる、ほぼ雲のない空でした。



My Home である御嶽山は、東天狗山頂からは、西天狗の裏に隠れてしまう事を知りました。

戻る途中、きれいな御嶽山を写真に収める事ができました。(西天狗裏の御嶽山↑)

下山途中、後から登ってきた久雄さん、ふみさんと遭遇。
おふたりは山頂へ行くことなく、皆と一緒に下山していき
ました。

小屋に入ると、皆簡単に荷物を整理、黒百合ヒュッテ
は、お食事スペースがテーブル席に、全体的に改装され、
室内は暖かくとても快適でした。

寝る場所も決まり、夕食までとりあえず飲む。

ビール 10 本はすぐ無くなりました。

持ち寄った日本酒やおつまみで夕食まで談笑です。

夕食のメインはハンバーグ、別皿でお惣菜を二品、いただきました。

夕食後は小屋のご主人、岳樹さんも加わり、消灯までの時間を楽し
く過ごしました。

一升瓶2本と焼酎など、どのくらいのお酒が消費されたのか、よくわ
かりません(苦笑)。



私事ですが、二の池ヒュッテ開業の際は、岳樹さんには多大なるご尽力を頂いております。岳樹さんの存在がなければ、今の二の池ヒュッテは存在しない、と言っても過言ではありません。恩人です。

朝ごはんにはシンプルに和食、生卵が出てきて驚きました。切り干し大根ときんちゃく、美味しかったです。

下山のみなので、出発まで少しのんびり、珈琲を入れていただきました。

小屋の前で集合写真を撮影、7:45 下山開始です。

歩きながら、渡邊さんが“木”について教えてくださいました。登山道周辺の国有林がどのような管理をされているのか等々、知らない世界のお話で、へー、と思うことがいくつもありました。

唐沢鉱泉登山口には、9:11 到着、ここで解散となりました。

帰宅した方もおりましたが、ほとんどのメンバーが縄文の湯で体を温めていきました。



※を除く文中のお写真は、渡邊さんからご提供いただきました

2023 年度通常総会・第 22 回憧憬の森講演会報告

勅使河原 幸一



2023 年度のスタートです。4 月 1 日に松本駅前会館で、山岳友の会 2023 年度通常総会と、第 22 回憧憬の森講演会を開催致しました。

2022 年度の事業報告、会計報告、2023 年度事業計画等の審議を行いました。

講演会は、会員の坂本孝氏が「飛行艇に魅せられて...」との題で、大変有意義なお話をされました。私は飛行艇を見たことはありませんでしたので、構造上のこ

と、機械的なこと、興味深いことばかりでした。水陸両用とのことで、海上遭難者の救助や離島の救急患者の搬送に素早い行動が可能で、多数の人命救助に貢献しているとのことでした。

二次会は凡蔵で、会長はじめ会員の方々多くの参加で楽しいひとときでした。

コロナも大分、落ち着いてきましたので、今年度の催し計画が順調に運び、盛会となりますようにと期待して居ります。



【写真：荻野 秀夫】

次に総会資料を添付いたします。

なお、監査により、収支決算について適正に処理が行われていることが確認されました。

〈2023 年度通常総会資料〉

2022 年度友の会事業報告

設立 12 年目の 2022 年度は、事業を概ね計画通りに開催することができました。
以下、主な事業について報告します。

○総会

通常総会 4 月 2 日(土) 松本市駅前会館 36 名参加 (委任状 48 通)

○運営委員会

第 17 回運営委員会 3 月 11 日(土) じぶんどき松本駅前店 12 名参加

○憧憬の森講演会

第 20 回憧憬の森講演会 4 月 2 日(土) 松本駅前会館 36 名参加

「スペイン聖地巡礼の旅」

講師：松尾 正徳 氏 (本会会員)

第 21 回憧憬の森講演会 12 月 3 日(土) 松本駅前会館 24 名参加

「北極圏の村グリーンランド・カナックでの生活と雪氷気象調査」

講師：西村 基志 氏 (国立極地研究所・本会会員)

○現地研修会

第 57 回現地研修会 5 月 9 日－11 日「高野山・熊野三山・那智の滝を巡るたび」12 名参加

第 58 回現地研修会 6 月 6 日－7 日「初夏の伊豆：天城峠・河津七滝そして沼津の魚」
15 名参加

第 59 回現地研修会 8 月 28 日－29 日「水上温泉に泊まり谷川岳に登ろう」14 名参加

第 60 回現地研修会 9 月 28 日－29 日「蓼科山と蓼科温泉」8 名参加

第 61 回現地研修会 1 月 11 日「冬的美ヶ原」9 名参加

第 62 回現地研修会 2 月 6 日－7 日「厳冬期の天狗岳と黒百合ヒュッテ」11 名参加

○会員集会 12 月 3 日(土) 松本駅前会館 24 名参加

○第 27 回上高地談話会 (第 10 回潤沢談話会) 7 月 4 日－5 日 潤沢ヒュッテ 22 名参加

「北米での経験を通して見た北アルプスと、山小屋という文化について」

講師：山田 耕太郎 氏 (横尾山荘・本会会員)

○会報の発行 4 回発行 (4 月 6 日、7 月 25 日、11 月 1 日、1 月 5 日)

○上高地ステーションの整備、随時

2023 年度信州大学山岳友の会事業計画

基本方針

友の会は設立 13 年目を迎えますが、次の基本事項に基づき事業を計画します。

1. 信州大学の山岳研究（信州山の環境研究センター）を支援します。
2. 会員相互の親睦と、心を豊かにする講座・研修会並びに講演会を開催します。
3. 大学と市民を結ぶ取り組みを考えます。
4. 会員を増やし、会の活動を充実します。
5. 会報は、会員の協力をいただき 4 回発行します。

事業計画（案）

期 日	内容等	備考(場所等)
4 月 1 日(土)	通常総会 憧憬の森講演会「飛行艇に魅せられて…」坂本孝氏（本会会員）	松本駅前会館
6 月 7 日(水)～ 6 月 8 日(木)	第 63 回現地研修会「筑波山・奥久慈男体山と袋田の滝」	奥久慈温泉
7 月 3 日(月)～ 7 月 4 日(火)	第 28 回上高地談話会（第 11 回涸沢談話会） 「最近の山岳遭難(仮)」岸本俊朗氏(長野県警山岳遭難救助隊長)	涸沢ヒュッテ
8 月 30 日(水)～ 9 月 1 日(金)	第 64 回現地研修会「蔵王お釜と瀬波温泉」	蔵王温泉 瀬波温泉
9 月 20 日(水)～ 9 月 21 日(木)	第 65 回現地研修会「御嶽山王滝口からの二の池ヒュッテ」	二の池ヒュッテ
10 月 16 日(月)～ 10 月 17 日(火)	第 66 回現地研修会「新装なった蝶ヶ岳ヒュッテ」	蝶ヶ岳ヒュッテ
11 月 15 日(水)～ 11 月 16 日(木)	第 67 回現地研修会「恵那峡の紅葉と下呂温泉」	下呂温泉
12 月 2 日(土)	憧憬の森講演会「黒百合ヒュッテ物語」米川岳樹氏	松本駅前会館
1 月 24 日(水)～ 1 月 25 日(木)	第 68 回現地研修会「美ヶ原高原星空満喫ツアー」	王が頭ホテル
2 月 29 日(木)	第 69 回現地研修会「冬の鉢伏山」	日帰り

2023年度 友の会 収支予算

(円)

収入の部

科目	本年度予算額	前年度決算額	増 減	備 考
繰 越 金	682,865	740,690	△ 57,825	
会 費	128,200	159,200	△ 31,000	正会員:81名 家族会員:1家族 学生会員:2名 賛助会員:9口
事業参加費	3,000,000	2,557,683	442,317	
雑 収 入	0	0	0	
計	3,811,065	3,457,573	353,492	

支出の部

管 理 費	460,000	57,288	402,712	事務局手当(2023年度前期のみ) メール便・消耗品 ほか
事 業 費	3,000,000	2,668,078	331,922	現地研修会 ほか
会 議 費	30,000	30,254	△ 254	総会・講演会 ほか
雑 費	20,000	19,508	492	上高地ステーション使用料 ほか
予 備 費	301,065	682,445	△ 381,380	残金は翌年度へ繰り越し
計	3,811,065	3,457,573	353,492	

友の会役員(2023-24年度)

会 長	山口 孝
副 会 長	熊谷 久
	竹原 文子
運営委員長	小林 久雄
運営委員	粟澤 徹
	奥原 仁作
	佐々木 明彦
	澤田 義幸
	立花 裕美子
	中村 秋男
	細萱 繁
	松田 俊雄
	横田 耕太郎
	渡邊 修
監 事	藤澤 高穂
	山田 直
顧 問	青柳 薫
	小林 銀一
参 与	市川 荘一
	高橋 和之
	中嶋 豊

※太字は新役員

信州大学山岳友の会会報 第47号
 発行日: 2023年4月10日
 発行: 信州大学山岳友の会
 〒390-8621長野県松本市旭3-1-1
 信州大学山岳友の会事務局
 TEL: 0263-37-3332
 FAX: 0263-37-2438
 E-mail: suims@shinshu-u.ac.jp